

# 2023年度アルバイト・パート募集時平均時給調査 年間まとめレポート

## フード系や販売・サービス系の上昇が全体の平均賃金を押し上げ 過去最大の最低賃金改定や継続する人材不足感が影響

本レポートは、株式会社リクルート（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：北村 吉弘）の調査研究機関「ジョブズリサーチセンター」（<https://jbrc.recruit.co.jp/>）が月次で発表している「アルバイト・パート募集時平均時給調査」について、2023年4月～2024年3月の結果をまとめたものです。

「アルバイト・パート募集時平均時給調査」では、当社が企画運営する求人メディア『TOWNWORK』『fromA navi』に掲載された求人情報より、アルバイト・パートの募集時平均時給を集計しています。今回のレポートでは、職種区分ごとに募集時平均時給の動向を確認するとともに、その分野で話題になったできごとを、メディア記事や事例、各種調査を交えて振り返ります。また、トピックスとしてエリア別の推移と職種別の時給分布について掲載しました。

### 目次

◆三大都市圏 募集時平均時給の推移	
(1) 職種計	2
↳過去最大の最低賃金改定や春闘の影響を受け上昇	
(2) 販売・サービス系	3
↳インバウンド増加などを背景に宿泊関連を中心に上昇	
(3) フード系	4
↳2022年度に引き続き右肩上がりで見られる	
(4) 製造・物流・清掃系	5
↳2024年問題やインバウンド増加で見られる	
(5) 事務系	6
↳前年同月増減率はマイナスから+4%超に	
(6) 営業系	7
↳2022年11月以降は1,200円前後を推移	
(7) 専門職系	8
↳平均時給は高水準 前年同月増減率は職種差あり	
◆トピックス (1) エリア別 募集時平均時給の推移	9
◆トピックス (2) 職種別 募集時時給の分布	10
調査概要	11

### ■ 過去の調査結果

ジョブズリサーチセンターWEBサイト> 最新市場データ > 平均賃金レポート（アルバイト・パート）

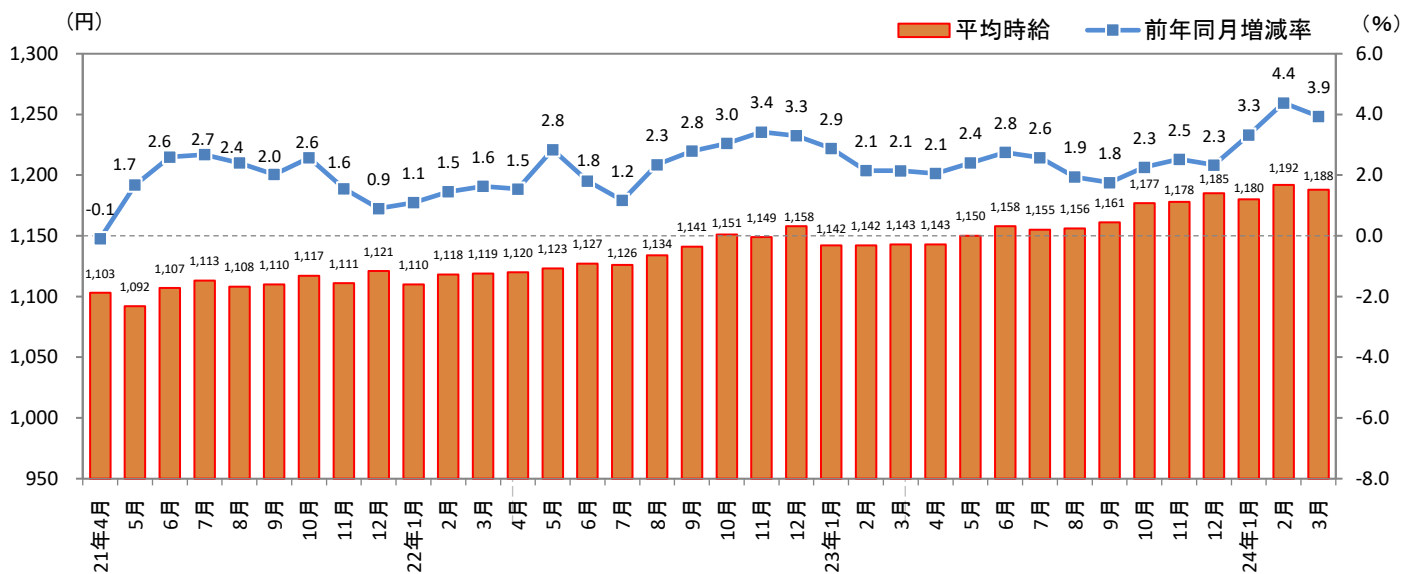
<https://jbrc.recruit.co.jp/data/ap/>

ジョブズリサーチセンターWEBサイト> 最新市場データ > オープンデータ（CSV形式で過去のデータがダウンロードできます。）

<https://jbrc.recruit.co.jp/data/opendata/>



## 三大都市圏 募集時平均時給の推移 (1) 職種計



### 過去最大の最低賃金改定や春闘の影響を受け上昇

上のグラフは、三大都市圏（首都圏・東海・関西）、職種計のアルバイト・パート募集時平均時給とその前年同月増減率の過去3年間の推移を示しています。また、下の表には職種大分類別の数値（2024年3月分）を示しました。

- 2023年4月～2024年3月の募集時平均時給は、**1,143～1,192円**の間で推移しました。例年は、12月にかけて上昇し年明け以降少し落ち着く傾向がありますが、2023年度は年明け以降も高い水準となりました。前年同月増減率も12月までは3%未満を推移していましたが、年明け以降は3%超となっています。
- 平均時給上昇の要因として最低賃金改定の影響は大きいでしょう。2023年10月に改定された最低賃金は、全国加重平均で43円引き上げられ、1,004円となりました。引き上げ額43円は最低賃金が時給で示されるようになった2002年以降最大です。加えて、年明け以降は春闘の影響も受けていると考えられます。

#### <職種別 募集時平均時給（2024年3月）>

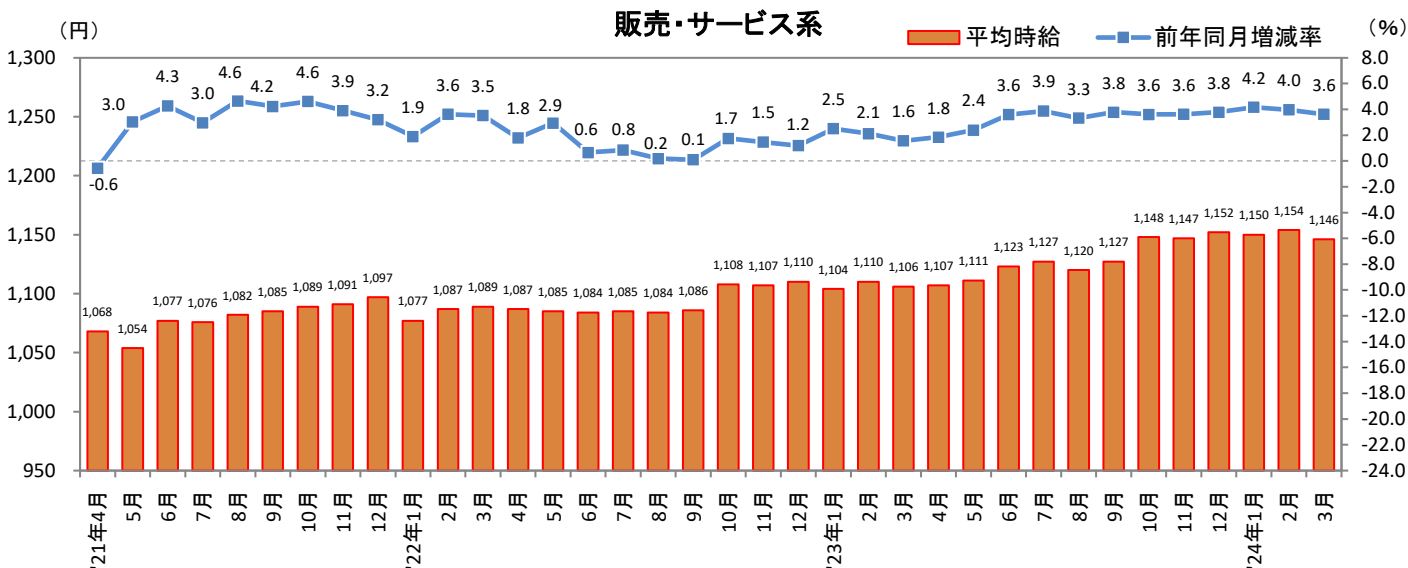
大分類	平均時給 (円)	前年同月増減率
販売・サービス系	1,146	3.6%
フード系	1,144	4.0%
製造・物流・清掃系	1,188	2.8%
事務系	1,272	4.3%
営業系	1,215	0.9%
専門職系	1,388	5.0%
三大都市圏 全体	1,188	3.9%

#### 関連調査

[ジョブズコミュニティレポート 2023年12月号 —経済活動活発化に伴い、人材不足感が高止まり—](#)

採用担当者を対象に継続的に行っているアンケート。2023年11月に行ったアンケートでは、「1年前よりも人材不足が悪化した」が58.9%と前年より減少しましたが、コロナ前の2019年10月と比較すると同程度であり、経済活動が本格化し、**人材不足感が高止まり**している状況といえそうです。

## 三大都市圏 募集時平均時給の推移 (2) 販売・サービス系



### インバウンド増加などを背景に宿泊関連を中心に上昇

ここからは、職種別に三大都市圏（首都圏・東海・関西）のアルバイト・パート募集時平均時給の推移を見ていきます。

- 「販売・サービス系」には、レジ、販売、コンビニスタッフ、ホールスタッフ（パチンコ・遊技場）、レジャー施設業務全般、ホテルスタッフなどが含まれています。（下表参照）
- 2023年4月～2024年3月の販売・サービス系の募集時平均時給は、**1,107～1,154円**の間で推移しました。前年同月増減率も年間を通して+4%程度と高く推移しました。
- 2023年10月は前月より21円増加しており、要因のひとつとして最低賃金の引き上げが考えられます。年明け以降は、大手小売企業を中心にアルバイト・パートを含めた賃上げが行われたことも影響しているでしょう。直近はインバウンドの増加によりホテルスタッフなど宿泊関連業務の時給上昇が見られました。

#### <販売・サービス系 募集時平均時給（2024年3月）>

小分類	平均時給 (円)	前年同月増減率
レジ	1,131	5.9%
販売	1,149	4.9%
アパレル販売	1,121	4.5%
化粧品販売	1,120	6.6%
コンビニスタッフ	1,079	3.5%
ホールスタッフ(パチンコ・遊技場)	1,278	-0.6%
レジャー施設業務全般	1,170	4.2%
ホテルフロント	1,227	3.0%
ホテルスタッフ	1,227	4.9%
宿泊施設関連(旅館・民宿)	1,214	6.6%
イベントスタッフ(設営・運営など)	1,269	5.2%
チラシ配布、キャンペーンスタッフ	1,302	6.2%
カーディーラー	1,136	4.7%
家事支援	1,164	1.0%
その他(販売)	1,134	4.5%
その他(サービス)	1,189	3.0%
販売・サービス系 全体	1,146	3.6%

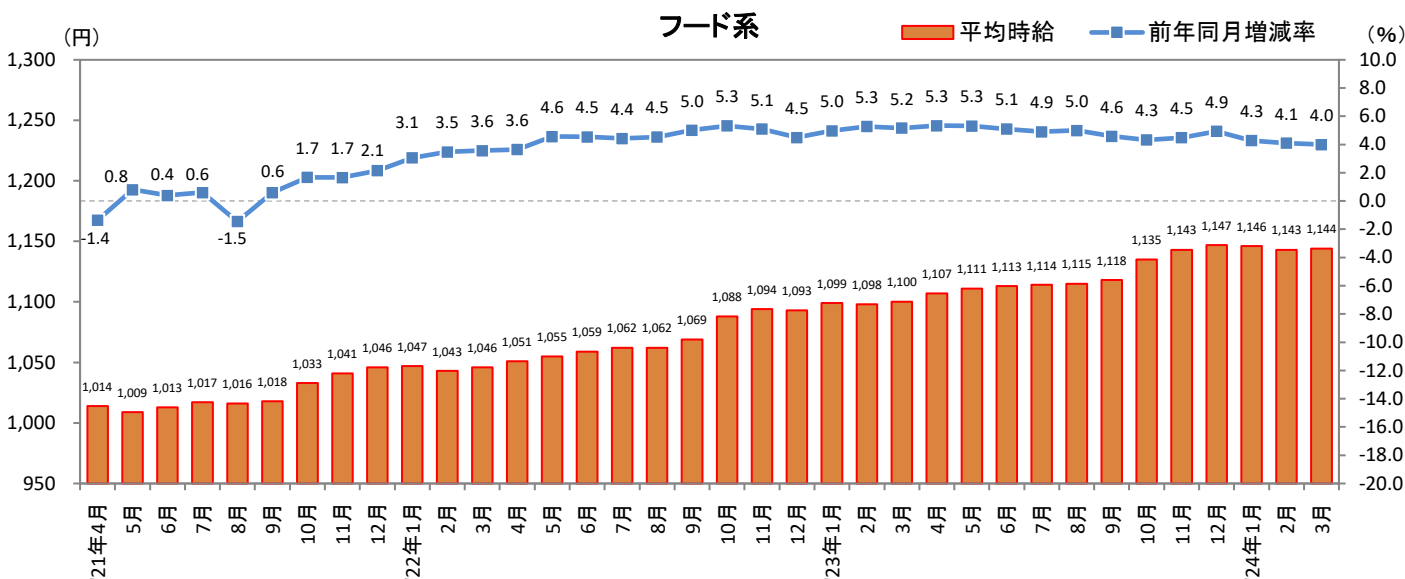
#### 販売・サービス系 関連調査

[【小売】就業者・離職者と企業に関するレポート](#) / [【小売】意向者と非意向者に関するレポート](#)

● 調査対象：コンビニ／アパレル・雑貨販売／ドラッグストアの就業者／離職者／意向者／非意向者／企業の担当者

● 調査項目：働き手と企業間での就業理由・離職理由のギャップや、意向者と非意向者の業界イメージなど

## 三大都市圏 募集時平均時給の推移 (3) フード系



### 2022年度に引き続き右肩上がりで見直し

- 「フード系」には、ホールスタッフ（飲食店）、調理・コック・板前（見習含む）などが含まれています。（下表参照）
- 2023年4月～2024年3月のフード系の募集時平均時給は、**1,107～1,147円**の間で推移しました。前年同月増減率は+4%超という高い水準が続いており、過去から見てもほぼ右肩上がりで見直し続けているのが特徴です。
- フード系は他職種と比較して、賃金水準が低い傾向にありましたが、2023年度は販売・サービス系との差が縮まり、同額になる月もありました。また、10月には前月より17円の増加となっており、最低賃金の引き上げの影響を受けたものと考えられます。コロナ影響を脱した2022年後半以降、人材不足感が急激に高まり、現状も継続していることが時給上昇の要因のひとつとなっているでしょう。

＜フード系 募集時平均時給（2024年3月）＞

小分類	平均時給 (円)	前年同月増減率
ホールスタッフ(飲食店)	1,150	3.6%
調理・コック・板前(見習含む)	1,143	4.1%
ファストフード	1,177	6.3%
パン職人・パティシエ	1,112	3.2%
洗い場・パントリー	1,122	1.8%
食品製造・販売	1,129	4.2%
その他	1,125	4.5%
フード系 全体	1,144	4.0%

#### フード系 関連調査

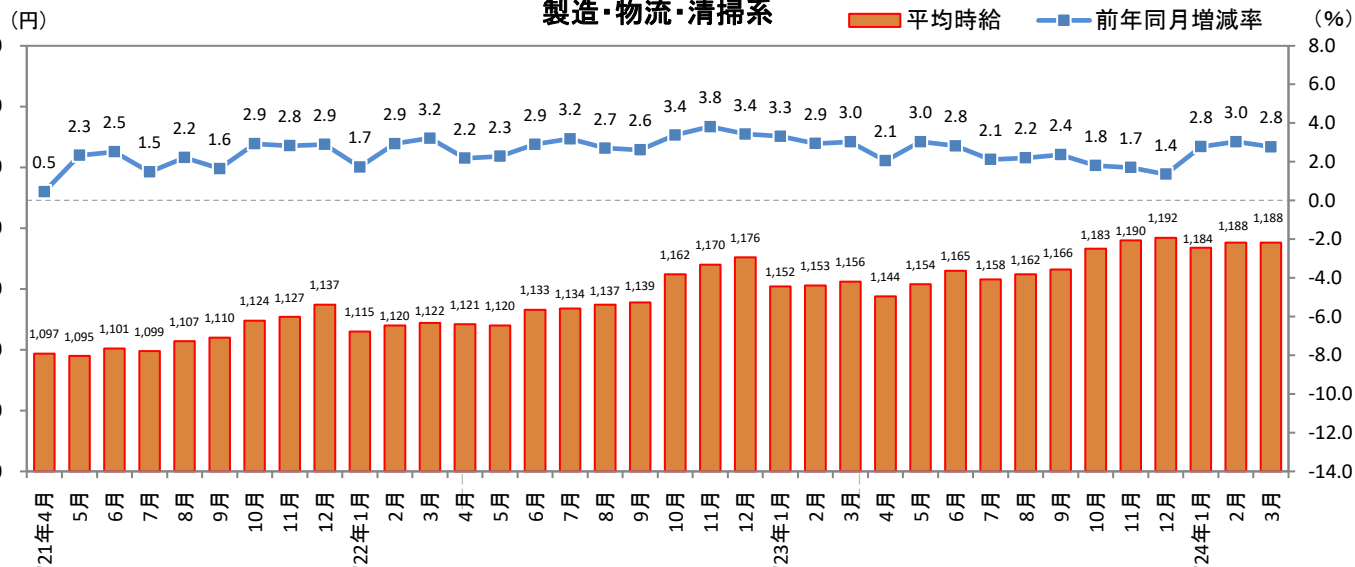
[【飲食】就業者・離職者と企業に関するレポート](#) / [【飲食】意向者と非意向者に関するレポート](#)

● 調査対象：ファストフード、居酒屋、レストランの就業者／離職者／意向者／非意向者／企業の担当者

● 調査項目：働き手と企業間での就業理由・離職理由のギャップや、意向者と非意向者の業界イメージなど

## 三大都市圏 募集時平均時給の推移 (4) 製造・物流・清掃系

製造・物流・清掃系



### 2024年問題やインバウンド増加で上昇

- 「製造・物流・清掃系」には、組立工、物流作業、ドライバー・配送・デリバリー、清掃・洗淨・クリーニングなどの仕事が含まれています。(下表参照)
- 2023年4月～2024年3月の製造・物流・清掃系の募集時平均時給は、**1,144～1,192円**の間で推移しました。比較的時給の高い年末の短期求人が増えることなどから、例年12月がピークとなっていました。2023年度は年明け以降も高い時給を維持していました。
- 2023年10月には最低賃金の引き上げの影響もあり平均時給が増加したと考えられます。2024年問題でドライバーを始めとした物流関連業務は求人ニーズが継続、清掃関連業務はインバウンドの増加の影響で、時給上昇が見られました。

#### <製造・物流・清掃系 募集時平均時給 (2024年3月) >

小分類	平均時給 (円)	前年同月増減率
組立工	1,236	4.0%
製造・生産(重工業除く)	1,270	8.0%
物流作業	1,203	3.3%
発送・仕分け・梱包	1,200	2.8%
構内作業・フォークリフト	1,390	3.7%
ドライバー・配送・デリバリー	1,188	2.1%
ドライバー(中型・大型・バス・タクシー)	1,244	2.8%
清掃・洗淨・クリーニング	1,170	3.0%
警備員・監視員・パーキングスタッフ	1,213	7.2%
ビルメンテナンス・施設管理	1,220	5.2%
ガソリンスタンドスタッフ	1,114	3.2%
管理人	1,152	0.7%
その他	1,226	1.7%
製造・物流・清掃系 全体	1,188	2.8%

#### 製造・物流・清掃系 関連調査

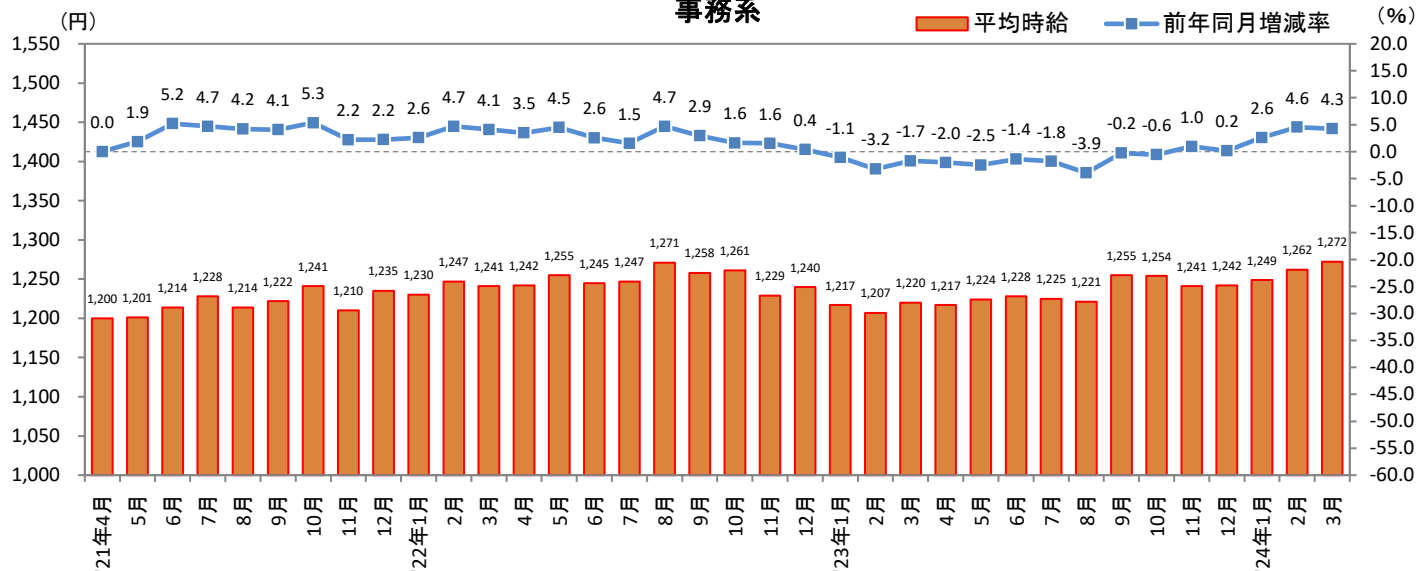
[【ドライバー】就業者・離職者と企業に関するレポート](#) / [【ドライバー】意向者と非意向者に関するレポート](#)

● 調査対象：貨物、配達／タクシー、バスの就業者／離職者／意向者／非意向者／企業の担当者

● 調査項目：働き手と企業間での就業理由・離職理由のギャップや、意向者と非意向者の業界イメージなど

## 三大都市圏 募集時平均時給の推移 (5) 事務系

### 事務系



### 前年同月増減率はマイナスから+4%超に

- 「事務系」には、受付、一般事務、電話対応、データ入力などが含まれています。（下表参照）
- 2023年4月～2024年3月の事務系の募集時平均時給は、**1,217～1,272円**の間で推移しました。前年同月増減率は、12月まではマイナスの月も多く落ちていましたが、年明け以降大きく増加しています。
- コロナ禍でニーズが高まったコールセンタースタッフ需要の落ち着きとともに、事務系全体の平均時給も減少傾向にありました。直近は出社回帰する企業が多く、受付のニーズ増加などが時給上昇の要因のひとつとなっていると考えられます。

#### <事務系 募集時平均時給 (2024年3月) >

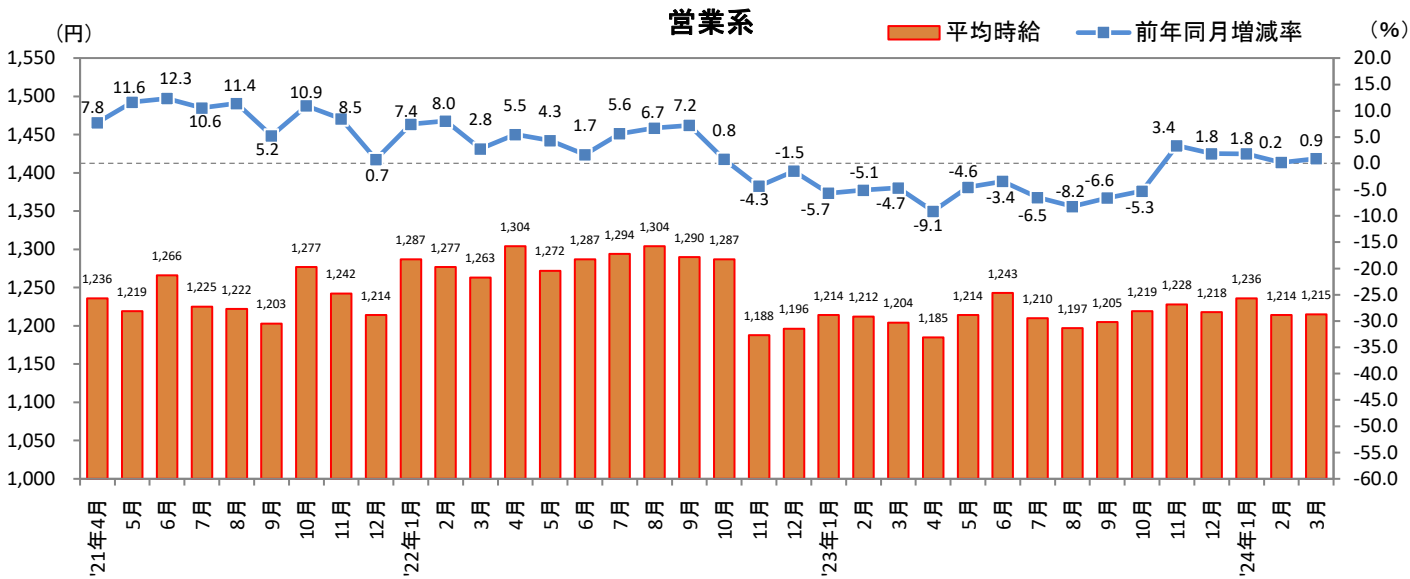
小分類	平均時給 (円)	前年同月増減率
受付	1,229	6.3%
一般事務	1,255	3.0%
電話対応	1,299	6.2%
コールセンタースタッフ	1,477	4.7%
データ入力	1,340	4.9%
医療事務	1,146	5.0%
その他	1,232	4.0%
事務系 全体	1,272	4.3%

#### 事務系 人材活用事例

#### **「長く働くなら正社員」という固定観念を捨てたことで、2名の採用に成功**

営業事務を採用することになり、正社員のための募集を行っていましたが、なかなか応募がありません。そこで同社は、**正社員とパート従業員を同時募集しよう**、と方針転換しました。すると21人の応募を集め、**パート希望の2名の採用に成功**したのです。今回は、同時募集にあたりどんな配慮・工夫があったかがいきました。

三大都市圏 募集時平均時給の推移 (6) 営業系



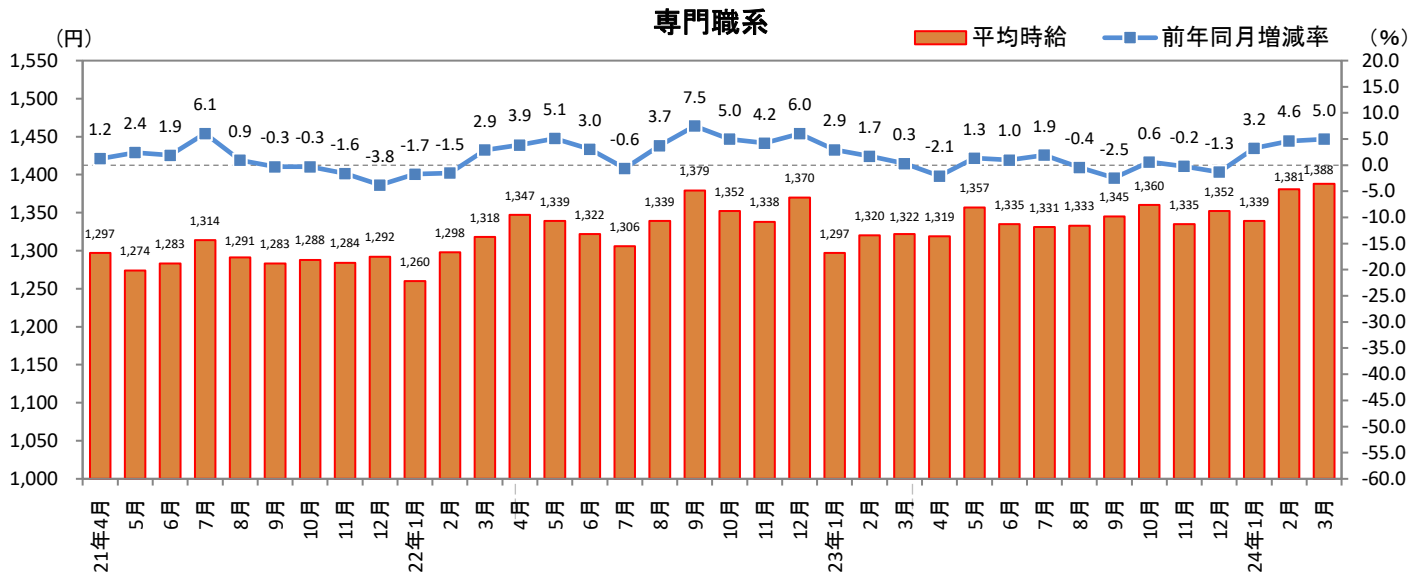
2022年11月以降は1,200円前後を推移

- 「営業系」には、営業とその他が含まれています。（下表参照）
- 2023年4月～2024年3月の営業系の募集時平均時給は、**1,185～1,243円**の間で推移しました。他の多くの職種区分と比べると募集時平均時給は高い水準となっていました。2022年11月に大きく減少して以降、1,200円前後を推移しています。
- なお、営業系に関しては、個別企業の動向の影響によって、月ごとの変動が大きい結果となっています。

<営業系 募集時平均時給（2024年3月）>

小分類	平均時給 (円)	前年同月増減率
営業	1,377	0.9%
その他	1,150	0.2%
営業系 全体	1,215	0.9%

## 三大都市圏 募集時平均時給の推移 (7) 専門職系



### 平均時給は高水準 前年同月増減率は職種差あり

- 「専門職系」には、医療関係従事者、介護スタッフ、訪問介護員（ホームヘルパー）、塾講師などが含まれています。（下表参照）
- 2023年4月～2024年3月の専門職系の募集時平均時給は、**1,319～1,388円**の間で推移しました。他の職種と比べて、募集時平均時給は高くなっています。前年同月増減率は12月まで落ちていましたが、年明け以降は+5%程度に上昇しました。
- 直近は、看護師、医療関係従事者、介護スタッフなどのエッセンシャルワーカーや塾講師のニーズ増加がうかがえました。

#### <専門職系 募集時平均時給（2024年3月）>

小分類	平均時給 (円)	前年同月増減率
看護師	2,082	17.3%
医療関係従事者	1,410	11.0%
介護スタッフ	1,262	4.6%
訪問介護員(ホームヘルパー)	1,339	2.8%
介護福祉士	1,343	2.8%
サービス管理責任者・サービス提供責任者(介護・福祉系)	1,263	4.3%
美容師・理容師	1,134	1.4%
美容系職種	1,176	6.4%
スポーツインストラクター	1,205	4.1%
塾講師	1,469	-1.1%
保育士	1,215	2.7%
家庭教師	1,429	3.6%
幼稚園教諭	1,253	6.5%
プログラマー・エンジニア	1,226	2.1%
その他	1,226	2.6%
専門職系 全体	1,388	5.0%

#### 専門職系 関連調査

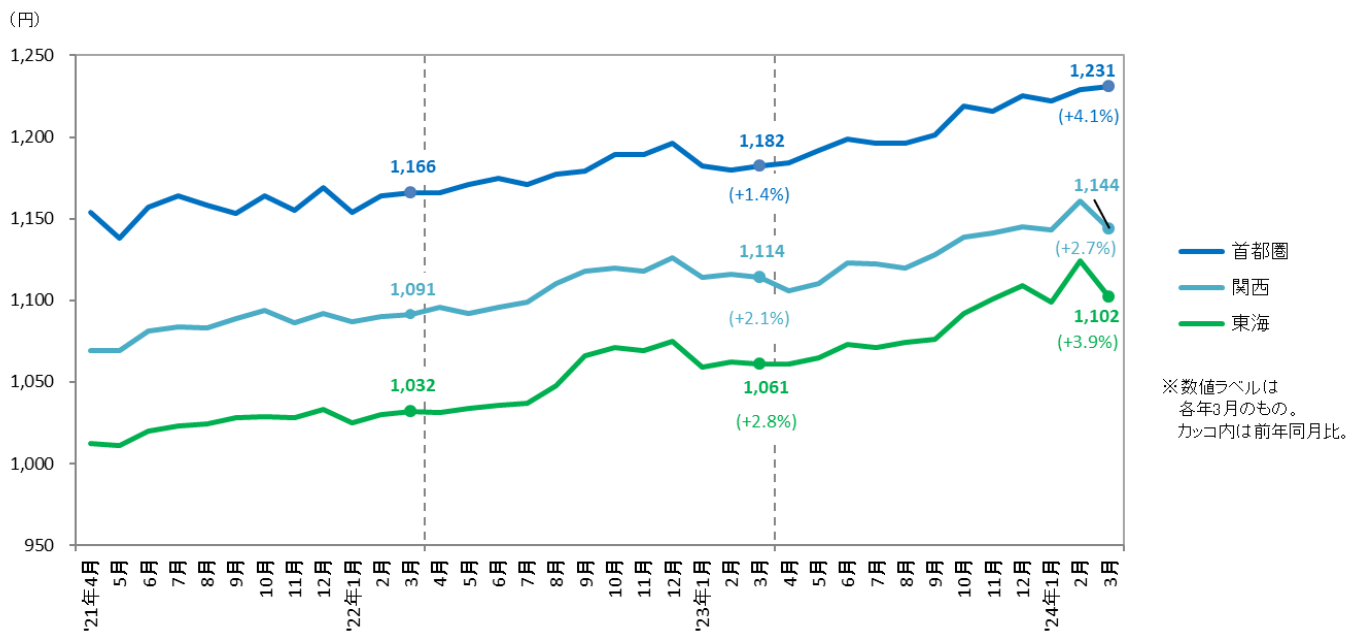
[【介護】就業者・離職者と企業に関するレポート](#) / [【介護】意向者と非意向者に関するレポート](#)

● 調査対象：訪問介護／施設介護の就業者／離職者／意向者／非意向者／企業の担当者

● 調査項目：働き手と企業間での就業理由・離職理由のギャップや、意向者と非意向者の業界イメージなど



## トピックス (1) エリア別 募集時平均時給の推移



### 関西と東海の平均時給の差が縮まる

- 募集時平均時給の傾向は、地域によっても異なると考えられます。上のグラフは、2021年4月～2024年3月の三大都市圏のアルバイト・パート募集時平均時給の推移をエリア別に示したものです。また、下の表にはエリア・職種別の数値（2024年3月分）を示しました。
- これを見ると、アルバイト・パート募集時平均時給はどの月も首都圏が最も高く、関西、東海と続きます。2024年3月の前年同月比は、首都圏で+4.1%、関西では+2.7%、東海では+3.9%で、いずれも2023年3月より高くなっています。特に、直近11月以降の東海の伸びが大きく、関西との平均時給の差を縮めています。
- 各エリアの産業構造や、物価、人材不足感、最低賃金などが、このような違いに影響していると推測されます。（各エリアの最低賃金については次ページ下部をご参照ください。）

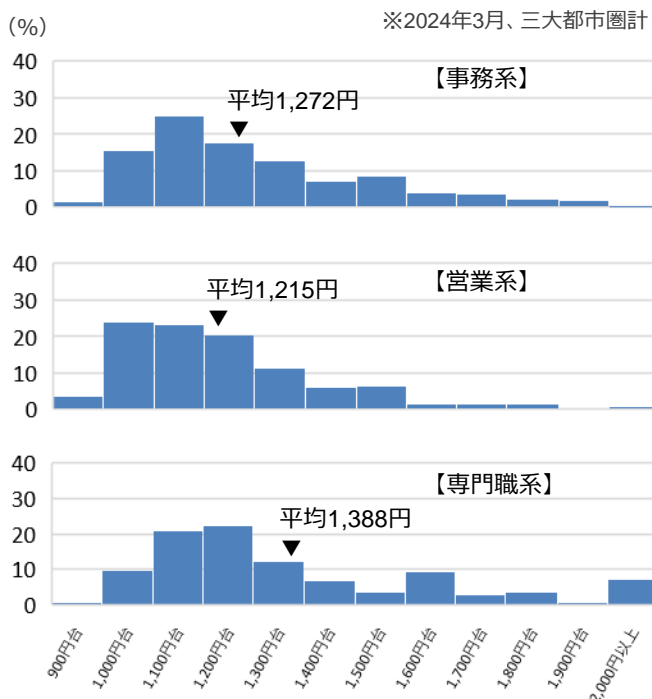
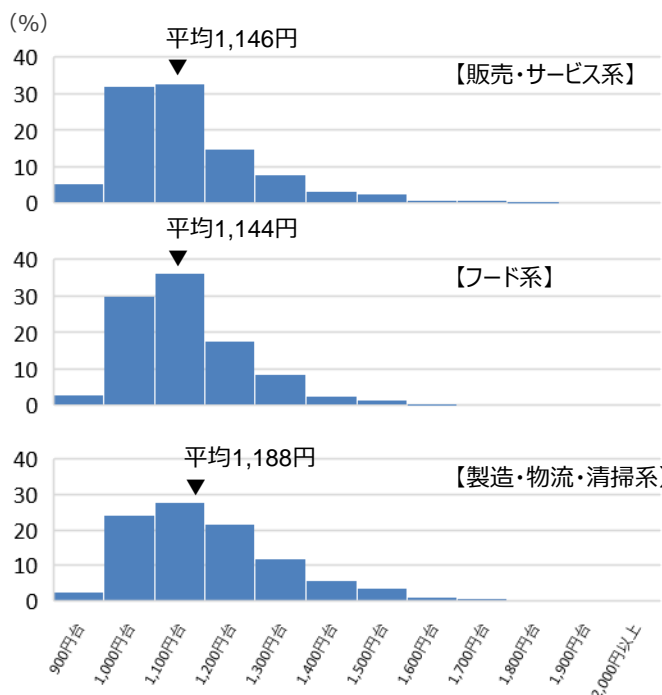
#### <エリア・職種別 募集時平均時給（2024年3月）>

大分類	首都圏	東海	関西	三大都市圏
販売・サービス系	1,181	1,078	1,112	1,146
フード系	1,185	1,078	1,099	1,144
製造・物流・清掃系	1,222	1,111	1,165	1,188
事務系	1,317	1,122	1,240	1,272
営業系	1,257	1,119	1,188	1,215
専門職系	1,429	1,273	1,309	1,388
職種計	1,231	1,102	1,144	1,188

#### ※エリア区分

- ・首都圏：東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県
- ・東海：愛知県、三重県、岐阜県、静岡県
- ・関西：大阪府、兵庫県、京都府、奈良県、滋賀県、和歌山県

## トピックス (2) 職種別 募集時時給の分布



### 販売・サービス系やフード系は1,000～1,100円台に集中 事務系や専門職系は分散

ここまでは募集時平均時給の動きを見てきましたが、平均ではなく時給の分布を見るとどのようになっているのでしょうか。上のグラフは、2024年3月の三大都市圏におけるアルバイト・パート募集時時給の分布を職種別に示したものです。

- これを見ると、**販売・サービス系やフード系では時給1,000～1,100円台がそれぞれ約30%と集中**しており、それより右側がなだらかな山形のグラフになっています。製造・物流・清掃系も同じようなグラフの形になっていますが、1,000～1,100円台は約20～30%と比較的少なくなっています。900円台は数%で、10～20%程度であった昨年と比較して減少しました。最低賃金の改定が大きく影響していると考えられます。（各エリアの最低賃金は下表をご覧ください。）
- **事務系、営業系、専門職系は、1,000～1,200円台が最も多くなっていますが、グラフの形はなだらかで、時給がより分散している**ことがわかります。特に専門職系では、2,000円以上の求人も7.1%ありました。

<参考：対象エリアの2023年度最低賃金> ※2023年10月発効

エリア	都道府県	2023年度 最低賃金(円)	前年からの 引上げ額(円)
首都圏	東京	1,113	41
	神奈川	1,112	41
	千葉	1,026	42
	埼玉	1,028	41
東海	愛知	1,027	41
	三重	973	40
	岐阜	950	40
	静岡	984	40

エリア	都道府県	2023年度 最低賃金(円)	前年からの 引上げ額(円)
関西	大阪	1,064	41
	兵庫	1,001	41
	京都	1,008	40
	奈良	936	40
	滋賀	967	40
	和歌山	929	40
全国加重平均		1,004	43

## 調査概要

### ■ 集計対象

株式会社リクルートが企画運営する求人メディア『TOWNWORK』『fromA navi』に掲載された求人情報より、「アルバイト・パート」募集の求人情報を抽出し、平均時給を集計しました。

『TOWNWORK』	「家の近くで働きたい」「学校の近くで働きたい」など、勤務地を重視する読者へ向けた求人メディア。全国で展開。ウェブサイト、アプリも。
『fromA navi』	アルバイト・仕事探しの総合求人情報サイト。関東、関西、東海エリアを中心に、北海道・東北・北陸・甲信越、中国・四国、九州・沖縄、リゾートの全8版を展開。

### ■ エリア区分

対象媒体に掲載される求人情報記載の所在地に準拠し、以下の通りとしました。本レポートでは、首都圏・東海・関西の三大都市圏を主に取り上げます。

北海道	北海道
東北	宮城県、青森県、岩手県、秋田県、山形県、福島県
北関東	栃木県、群馬県、茨城県
首都圏	東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県
甲信越・北陸	山梨県、長野県、新潟県、石川県、富山県、福井県
東海	愛知県、三重県、岐阜県、静岡県
関西	大阪府、兵庫県、京都府、奈良県、滋賀県、和歌山県
中国・四国	広島県、岡山県、山口県、島根県、鳥取県、香川県、徳島県、愛媛県、高知県
九州	福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

### ■ 職種区分

対象媒体に掲載される求人情報より、大分類を以下の通りとしました。それぞれに含まれる小分類についてはp.3～8をご覧ください。なお、「その他」については掲載を割愛しています。

販売・サービス系    フード系    製造・物流・清掃系    事務系    営業系    専門職系    その他

### ■ 集計対象件数

2024年3月度 96万7,432件（全国） ※当該件数は平均時給調査に際して集計した求人の件数であり、集計対象とする求人メディアに掲載されている求人の総数ではありません。  
※各月の集計対象件数は過去のリリース資料をご覧ください。

※各数値については小数点第2位を四捨五入しているため、増減額および率が表記内の数値を集計した結果と一致しない場合があります。

※2022年4月度より集計対象媒体および職種分類を変更したため、過去データについても再集計しています。